

かんてつ 貫徹通信

発行責任者：おおや 徹

発行日 2013年1月【第13号】

発行者 大矢 徹

連絡先 0466(23)5711

<http://www.ohya-toru.com/>

[mail:ohya.toru@gmail.com](mailto:ohya.toru@gmail.com)

年頭にあたって 2013

穏やかな天候に恵まれ、新たな年を希望に満ち、元気一杯で迎えられたことと存じます。昨年は、皆様のご支援により、日々藤沢市議会議員として力強く活動させていただいたことに、心より感謝申し上げます。

正月恒例の箱根駅伝では、日本体育大学が予選会からの出場で、総合優勝を果たしました。名門の中央大学が、5区で途中棄権するなど、今年も様々なドラマがありました。私の母校、日本大学は2年ぶりに出場し、2区で一時はトップに立つも、終わってみれば、15位。来年は、また予選会からの挑戦となりますが、本選出場を果たしてほしいと願います。



本年は、議員・議会が身近な存在になるための議会活動報告『貫徹通信』の議会毎の発行と「ホームページの充実」「より公正で透明な行政運営と、真に公的責任が果たせる行財政改革や議会改革の推進」「勤労者や社会的に弱い立場の視点に立った活動」「私に寄せられる市政課題の解決に向けて、全力で取り組むこと」などを目標に、精一杯努力していきます。

本年も、皆様の引き続きのご支援をお願い申し上げます。

12月議会の主な内容

12月3日から12月19日まで、12月定例議会が開催されました。主な内容は、指定管理者の指定、地域主権一括法に伴う条例の制定や一部改正、藤沢市市税条例の一部改正、平成24年度藤沢市一般会計補正予算などです。

なお、一般会計補正予算の補正額は、15億809万9千円で、補正後の総額は1,253億8,224万8千円となりました。私は、市側が提案した全ての議案に賛成し、可決されました。

①衆議院選挙にかかる税金

今議会で、専決処分の承認をしましたが、昨年12/16に投開票された、衆議院選挙に必要な経費は、藤沢市で1億5,316万6千円。国の負担ではありますが、税金がこれだけ使われていることを認識する必要があると思います。

②東電値上げの影響

東京電力の電気料金値上げに伴う補正予算は、総合防災センター運営管理費677万8千円+防犯灯電気料補助金3,998万1千円で、約4,700万円の負担増となりました。

③就労支援事業が見直されます

藤沢市が平成16年度から実施してきた、無料職業紹介事業「藤沢しごと相談システム」について、若年者に特化した事業に見直すことが、議会に報告されました。現行の若年者雇用対策事業「Let's しごと塾」は拡充し、(新)若年者就労支援事業へ。無料職業紹介事業「藤沢しごと相談システム」の職業紹介は廃止、中高年齢者等就労支援は、労働会館指定管理者独自事業の充実及びハ

ローワーク藤沢との連携にて行うこととなります。また、障がい者就労支援事業は、拡充して事業を継続します。

④緑の広場(家庭菜園)が有料に

緑の広場(家庭菜園)については、現在無料ですが、民営の同種施設が有料であること、受益者負担の原則、農地法上の問題などから、制度を見直すことが議会に報告されました。この見直しにより、1区画年額14,000円となります。

⑤柄沢特定土地区画整理事業は、事業計画を変更

平成25年度完了予定の柄沢特定土地区画整理事業は、事業最終年度となる平成25年度を前に、都市計画道路の拡幅改良工事、擁壁設置工事などについて、関係者や地権者との調整に時間を要しているため、平成25年度内での完了が困難な状況になり、計画変更をすることとなりました。現行事業費は321億9,600万円から343億5,400万円へ、現行事業期間は昭和61年度～平成25年度から、～平成30年度(5年間の延長)に変更します。

⑥保育所整備について

○賃借型認可保育所の再募集

9月議会の報告では応募がなかった藤沢駅周辺について、再募集をした結果が報告されました。藤沢市鶴沼花沢町1-12の6階建て建物の2、3階全フロア。保育所面積442㎡で定員は60人。平成25年6月1日開設予定で、事業者は(株)こどもの森。もう1つの保育所は、藤沢市藤沢989-4他の3階建て建物全部。保育所面積578㎡で定員は80人。平成25年9月1日開設予定で、事業者は(株)サクセスアカデミーに決定しました。

○藤沢型認定保育所制度の検討状況

待機児童解消の図る制度として、藤沢市独自の「藤沢型認定保育所」を創設し、待機児童の解消及び認可外保育施設の保育環境の充実を図るもので、その検討状況が報告されました。主な認定基準は、定員10人以上、保育室の広さが1.98㎡/児童1人、保育従事者のうち3/4以上が有資格者、保育料58,000円/月が限度などです。

今後は、平成24年12月～平成25年1月市内認可外保育施設に対して、制度内容の説明会を実施し、対象施設

の選定を行い、平成25年1月から対象施設に対して認定要件等の調査を行い、実施施設を確定します。平成25年4月1日から制度実施予定です。

⑦地域経営会議等を見直します

13地区に設置されている「地域経営会議」について、会議体が行う地域のまちづくりに係る事業の責任は、市にあることを明確にし、地域のまちづくり推進について、十分に機能するように、市及び市民センター・公民館が積極的に調整に努めていくこととします。

地域移譲事務を見直し、平成25年度以降、これまで地域へ移譲した事務について、平成21年度当時の執行方法に戻すことを基本としますが、地域移譲により市民サービスが向上したものは、引き続き市民センター・公民館で実施します。

藤沢市地域分権及び地域経営の推進に関する条例等については、平成25年3月31日付で廃止し、「(仮称)推進会議設置要綱」によることとし、同要綱において、その目的、所掌事務、組織、委員、市の責務、事務局等について規定することとします。

⑧学校生活についてのアンケートを実施

少子化、核家族化が進む中で、子どもたちの対人関係を構築する力や、コミュニケーション力の低下から、トラブルやいじめに発展することが懸念されていることから、子どもの実態を把握し、指導に活かすことを目的に実施され、その結果報告がされたものです。私は、いじめが原因の自殺について、毎日のようにマスコミ報道がされている状況からしても、今回の内容のアンケート実施は貴重であり、大いに評価します。いじめのない学校生活となるよう、結果を有効に活用してもらいたいと思います。

調査対象は、全市立小・中学校児童生徒で、設問(抜粋)と分析結果(それぞれ最小値、最大値)は次のとおりです。

【設問1】

①ひやかされたり、からかわれたり、嫌なことを言われたことがある。

小学校:17.8%(1年)～31.7%(4年)

中学校:20.2%(3年)～31.6%(1年)

②仲間はずれにされたり、無視されたりした。

小:8.9%(6年)～20.5%(2年)、中:5.7%(3年)～9.4%(1年)

③なぐられたり、けられたりした。

小:9.1%(6年)～19.8%(2年)、中:7.2%(3年)～11.3%(1年)

④お金を出させられたり、おごらされたりした。

小:0.9%(6年)～2.1%(4年)、中:1.4%(1年)～1.9%(2年)

⑤その他

小学校:体重を馬鹿にされた、にらんでくる等

中学校:ブログに悪口を記載、お金を返してくれない等

【設問2】

設問1のようなことをされ、学校に来るのがつらくなる

ことがある。

小:8.7%(6年)～16.6%(2年)、中:6.9%(3年)～8.9%(2年)

【設問3】

友だちのことで悩んでいることや、心配なこと、相談したいことがある。

小:9.5%(1年)～13.2%(4年)、中:9.0%(3年)～9.6%(2年)

【設問4】

周りの人に、次のようなことをしたことはありますか？

①ひやかしたり、からかったり、嫌がることを言った。

小:8.2%(1年)～26.1%(6年)、中:22.5%(3年)～33.4%(1年)

②仲間はずれにしたり、無視したりした。

小:4.2%(1年)～7.7%(6年)、中:4.1%(3年)～8.5%(1年)

③なぐったり、けったりした。

小:7.4%(1年)～12.9%(4年)、中:7.5%(3年)～11.4%(1年)

④お金を出させたり、おごらせたりした。

小:0.5%(1年)～0.9%(4年)、中:0.9%(1年)～1.1%(2,3年)

⑤その他

小学校:あだ名をつけた、陰口を言った、物を壊した等

中学校:あだ名をつけた、罰ゲーム、物を隠した等

【設問5】

同じ人が繰り返し、次のようなことをされている場面を見たり、聞いたりしたことはありますか？

①ひやかされたり、からかわれたり、嫌がることを言われていた。

小:14.8%(1年)～34.6%(6年)、中:27.2%(3年)～44.4%(1年)

②仲間はずれにされたり、無視されたりしていた。

小:11.5%(1年)～24.1%(3年)、中:13.6%(3年)～20.4%(1年)

③なぐられたり、けられたりしていた。

小:13.5%(1年)～23.3%(3年)、中:10.7%(3年)～18.4%(1年)

④お金を出させられたり、おごらされたりしていた。

小:1.8%(3年)～2.7%(6年)、中:2.2%(1年)～3.4%(2年)

【設問6】

まわりに、設問5のようなことをされ、学校に来るのがつらくなっている人がいると思いますか？

小:10.9%(1年)～28.4%(4年)、中:21.4%(3年)～28.3%(1年)

【設問7】

設問5の場面を見たり、聞いたりしたら、どうしますか？

小学校:一緒に立ち向かう、声をかける等

中学校:度が過ぎたら止める、相談にのる等

共通:大人に言う、知らないふりをする、助ける等

【今後に向けて】

今回の調査結果から、教育委員会としては、学校生活の中でつらい思いをしている児童生徒が相当数いることを把握するとともに、学校に対して、学校・学年・学級における指導を活かすこと、特に、無視、仲間はずれ、持ち物へのいたづら等、対応が遅れるといじめに繋がりがかねない事案や、暴力、金銭の授受等、深刻化が懸念される事案については、個人面談等を行い、早期に発見して対応するよう指導したとの事です。

私は、このアンケートで、特に大事にしたいと思ったのは、いじめられている人の存在や気持ちを分かっている児童・生徒も多くいるということです。人の気持ちが分かり、だから嫌なことはしない。そういう児童・生徒たちばかりの学校になるよう、今後の教育委員会の対応に期待をしています。